

## 54 今、持ち患者は何人?……医院の安定度をチェックする方法

将来の来院患者予定数が「持ち患者数」だ。診療終了後に、アポ帳をみて明日以降に入っている患者さんの数を数える。その際に重複して予約している患者は省いて勘定する。たったこれだけの作業だが、自分の医院の安定度をかなりの確率で判断することが可能だ。

なぜなら、持ち患者数はその歯科医院への患者さんの定着度を示しているからだ。新規開業ではこの数値をみることでその医院がどのような成長をしていくかがある程度わかるのだ。実際の持ち患者数の評価としては、地域により格差もあるが概ね以下のように判断できる。

## ＜持ち患者数の指標＞

60名以下	かなり危険な末期状態
60～80名	何らかの手を打たないと、危険な状態になる可能性がある

80～100名	やや危険。何かの拍子に急速に患者が経る可能性がある
100～120名	普通。一応の安定状態といえる
120～150名	良。安定しており、特別なことがなければ患者が急に減ることはない
150名以上	良好。常にこの状態を保つようにすることが大事

80名以下の場合は、1日20名を診療する場合、5日目以降のアポイントが入っていない状態を示している。このような医院の場合は月のレセプト点数が20万点を切っている場合が多く、早急に建て直し策をとらないと手遅れになる可能性が高いといえる。日々の持ち患者数をウォッチして危険を事前にキャッチしよう。